

新SVJオビディエンス（概要）

旧オビディエンスからの主な変更点と新しい取り組み

- 新規定移行措置として2018年12月31日までに開催される競技会においては、初出場（過去に出場したことがない犬）でも、どのクラスでも自由に出場できることとします。
- 2019年1月1日以降は、2018年12月31日までにSVJオビディエンスに出場した犬（レベルや得点や合否は問わず）及びBH合格犬のみ、どのクラスでも自由に出場できますが、新規受験・出場犬はオビディエンス1からの段階受験でなければなりません。ただしBH試験合格犬はオビディエンス4以上のどのレベルでも出場可能です。
- レベルが三段階から六段階になりました。
- 総合評価が「B（70%）」以上であれば次の競技会には一つ上のレベルで出場できます。昇級せずに同じレベルに留まって出場することも可能です。
- 昇級はSVJ訓練試験でも可能とします。OB1とOB2の同時受験も可能とします。
例：訓練試験でOB1とOB2同時受験で合格→競技会はOB3で出場できます。
- OB1～3は10ヶ月齢から出場できます。OB4～6は12ヶ月齢とします。
- シニアオープンの部（出場条件は犬の年齢6歳以上のみ。BH、昇級過程不要）を新設。オビディエンス4の規定で行います。
- プロが自己所有犬で出場できるのはOB4からとします（BH必要なし）。
- どのレベル、どの課題においても犬の大きさに合わせて歩幅を調節しても良い。
- 小型犬が前進を行う場合、スタート地点（基本姿勢地点）を前方に移動しても良い。
- すべてのレベル、どの課題においても、前進の命令時以外、手あるいは体での合図は禁止。命令（声符）のみで行う。
- リードは左手で持つ（それができない理由があるときは右手でも良い）。

オビディエンス1（一頭が単独で行います）

1	<u>リード付きで行進</u> （群衆なし） IGPコース・常歩のみ・最初の直進は最低10歩
2	<u>リード付き座れ待て</u> 基本姿勢から「スワレまたはマテ」→静かに手からリードを放し5歩離れる
3	<u>リード付き伏せて待つと呼び寄せ</u> （リードを外しても良い） 基本姿勢から「フセ」→10歩離れる→呼び寄せる
4	<u>リード付き休止</u> （単独・犬を見ても良い） 伏せた犬からリードを持ったまま（放しても良い）2歩離れる→20秒

新SVJオビディエンス（概要）

オビディエンス2（一頭が単独で行います）

1	<u>リード付きで行進</u> （群衆なし） IGPコース・常歩のみ・最初の直進は最低20歩
2	<u>リード付き座れ待て</u> 基本姿勢から「スワレまたはマテ」→静かに手からリードを放し10歩離れる
3	<u>リード付き伏せて待つと呼び寄せ</u> （リードを外しても良い） 基本姿勢から「フセ」→20歩離れる→呼び寄せる
4	<u>リード付き休止</u> （単独・犬を見ても良い） 伏せた犬から10歩離れる→1分

オビディエンス3（一頭が単独で行います）課目2、3はリード付なしどちらでも可

1	<u>リード付きで行進</u> （群衆なし） IGPコース・常歩のみ・最初の直進は最低30歩
2	<u>常歩行進中の座れ</u> （座れを命令する際立ち止まっても良いBHの要領） 常歩10～15歩の間で座れを命ずる→15歩離れる
3	<u>常歩行進中伏せと呼び寄せ</u> （伏せを命令する際立ち止まっても良いBHの要領） 常歩10～15歩の間で伏せを命ずる→30歩離れる→呼び寄せ
4	<u>リード付き休止</u> （単独・犬を見ても良い・リードを持つのは犬を座らせてから） 伏せた犬から20歩離れる→1分

オビディエンス4（2頭一組で行います／一頭は行進からもう一頭は休止から）

1	<u>リードなしで行進</u> （群衆あり） IGPのコース（最初の直進は50歩）
2	<u>常歩行進中の座れ</u> （リードなし） 常歩10～15歩の間で座れを命ずる→15歩離れる
3	<u>常歩行進中伏せと呼び寄せ</u> （リードなし） 常歩10～15歩の間で伏せを命ずる→30歩離れる→呼び寄せ
4	<u>休止</u> （ペアの服従が終わるまで） 伏せた犬から30歩離れて背中を向けて立つ

新SVJオビディエンス（概要）

オビディエンス5（2頭一組で行います／一頭は行進からもう一頭は休止から）

1	<u>リードなしで行進</u> （群衆あり） IGPのコース（最初の直進は50歩）
2	<u>常歩行進中の座れ</u> （リードなし） 常歩10～15歩の間で座れを命ずる→15歩離れる
3	<u>常歩行進中の伏せと呼び寄せ</u> （リードなし） 常歩10～15歩の間で伏せを命ずる→30歩離れる→呼び寄せ
4	<u>常歩行進中の立止</u> （リードなし） 常歩10～15歩の間で立止を命ずる→15歩離れる
5	<u>物品持来</u> 指導手のダンベル
6	<u>休止</u> （ペアの服従が終わるまで） 伏せた犬から30歩離れて背中を向けて立つ

オビディエンス6（2頭一組で行います／一頭は行進からもう一頭は休止から）

1	<u>リードなしで行進</u> （群衆あり） IGPのコース・最初の直進は50歩
2	<u>常歩行進中の座れ</u> （リードなし） 常歩10～15歩の間で座れを命ずる→15歩離れる
3	<u>速歩行進中の伏せと呼び寄せ</u> （リードなし） 常歩10歩→速歩10～15歩の間で伏せを命ずる→30歩離れる→呼び寄せ
4	<u>速歩行進中の立止と呼び寄せ</u> （リードなし） 速歩10～15歩の間で立止を命ずる→30歩離れる→呼び寄せ
5	<u>物品持来</u> 指導手のダンベル
6	<u>障害飛越と物品持来</u> 指導手のダンベル・障害の高さは任意（ただし犬の体高以上）
7	<u>前進と伏せ</u> 常歩10～15歩の間で前進を命ずる→約30歩前進→伏せ
8	<u>休止</u> （ペアの服従が終わるまで） 伏せた犬から30歩離れてテントの中に入る

新SVJオビディエンス（概要）

		1	2	3	4	5	6	
1	リード付き行進 リードなし行進	10	10	10	10	10	10	
2	リード付き座れ待て 常歩行進中の座れ	10	10	10	10	10	10	
3	常歩行進中伏せと招呼 速歩行進中伏せと招呼	10	10	10	10	10	10	
4	常歩行進中の立止 速歩行進中立止と招呼	--	--	--	--	10	10	
5	物品持来	--	--	--	--	10	10	
6	障害飛越と物品持来	--	--	--	--	--	10	
7	前進と伏せ	--	--	--	--	--	10	
8	リード付き休止 リードなし休止	10	10	10	10	10	10	
	最小採点は0.5	40	40	40	40	60	80	